

青色レーザ溶接装置と

超精密穴あけ装置を中心に

レーザ加工装置の販売を拡大!

(株)片岡製作所

専務取締役

西 則男



昨年を振り返りますと、
コロナ禍の中でも半導体業

界・二次電池業界向けレーザ加工装置の売上高が伸びており、その中でも半導体業界における超精密穴あけ装置、二次電池業界では溶接装置の販売台数が伸びました。

超精密穴あけ装置においては高精度な加工形状や高い位置決め精度の需要が高まり、弊社が得意とする光学系技術を最大限に活かして、超微細且つ精密、そして真円度の高い穴あけと、四角穴においては角部のR形状を5マイクロメートルにすることを実現しました。さらに、装置の設置環

境温度に依存しない高精度な穴加工が実現できる高精度機を開発しました。また、従来困難であった銅溶接を可能にした青色レーザ溶接装置では、IRレーザの重量によってスパッタフリーを実現しました。これらの技術から、二次電池業界やモーター業界だけでなく電子部品業界等の銅の接合市場に参入し、高評価を頂いております。

今年も半導体業界や二次電池業界は好調が予想されることに加え、電気自動車用部品の需要増加が見込まれることから、超精密穴あけ装置、青色レーザ溶接装置を中心に半導体業界・二次電池業界・モーター業界・電子部品業界など、昨年よりさらに売上げが伸びる見込みです。さらに、レーザ技術を応用した細胞プロセッシング装置には細胞の良否を判断するAIを搭載しており、このAIを展開した液晶ディスプレイ向けのAIレーザリペア装置についても需要が見込まれます。

また、今年も継続して海外ビジネスの拡充にも取り組むことで、前述の超精密穴あけ装置、青色レーザ溶接装置を中心に販売を伸ばして参ります。特に海外ではWebによる加工テスト、仕様打合せから出荷立会、メンテナンスを実現しており、リモートでのサービス体制が確立しました。さらに、海外での営業・サービス体制を拡充するための技術者の補充や育成にも力を入れております。

30年以上のレーザ加工の経験によって、京都から世界へ「グローバルニッチトップ」を目指したレーザ事業の拡大を進めて参ります。